

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	幌延町立診療所運営事業	幌延町	91,614,197	80,000,000	
2	地域活性化措置	幌延町保健センター運営事業	幌延町	11,352,435	10,000,000	
3	地域活性化措置	幌延町認定こども園・幌延町立へき地保育所運営事業	幌延町	22,307,329	20,000,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
1	地域活性化措置	幌延町立診療所運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		幌延町	
交付金事業実施場所	幌延町1条北2丁目及び字問寒別		
交付金事業の概要	<p>地域において必要な医療の提供、診療体制の確保・維持を図ることにより、町民の健康を保持することを目的として実施する。</p> <p>人件費：医師1名、栄養士1名、看護師10名、事務職員2名</p>		
総事業費	91,614,197 円	交付金充当額	80,000,000 円
		うち文部科学省分	( 0 円 )
		うち経済産業省分	( 80,000,000 円 )
交付金事業の成果及び評価	<p>本年度は、医師1名、栄養士1名、看護師10名、事務職員2名の人件費（給料・期末勤勉手当・管理職手当）を支給。地域に必要な医療の提供、診療体制の確保・維持が図られたことにより、町民の健康が保持された。</p> <p>平成27年度患者数：17,484名（外来14,475名・入院3,009名）</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
人件費	雇用	—	91,614,197 円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
幌延町において本事業は、町民の健康を保持するため、町内唯一の有床医療施設である町立診療所において地域に必要な医療の提供、診療体制の確保・維持を図ることが必要であることから、平成28年度以降も引き続き本交付金により事業を実施する予定。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		実施予定なし	

(備考)

- (1) 事業ごとに別様で作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
- (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
- (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
2	地域活性化措置	幌延町保健センター運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		幌延町	
交付金事業実施場所		幌延町字幌延	
交付金事業の概要		<p>町民の健康づくりを総合的に推進するため、地域に必要な相談・支援体制を確保・維持することを目的として実施。</p> <p>人件費：保健師1名、栄養士1名</p>	
総事業費		11,352,435 円	<p>交付金充当額</p> <p>うち文部科学省分 ( 0 円 )</p> <p>うち経済産業省分 ( 10,000,000 円 )</p>
交付金事業の成果及び評価		<p>本年度は当初計画どおり、保健師1名及び栄養士1名の人件費（給料・期末勤勉手当）を支給。地域に必要な健康づくりに関する相談・支援体制が確保・維持されたことにより、地域住民の健康増進を図ることができた。</p> <p>平成27年度対応件数：604件（保健指導289件・健康相談315件）</p>	
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
契約の目的		契約の方法	契約の相手方
人件費		雇用	—
			11,352,435 円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
幌延町において、本事業は町民の健康づくりを総合的に推進するための相談・支援体制を確保・維持するために必要であることから、平成28年度以降も引き続き本交付金により事業を実施する。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		実施予定なし	

(備考)

- (1) 事業ごとに別様で作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
- (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
- (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
3	地域活性化措置	幌延町認定こども園・幌延町立へき地保育所運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		幌延町	
交付金事業実施場所	幌延町栄町及び字間寒別		
交付金事業の概要	<p>保育を必要とする乳児、幼児又はその他の児童の福祉増進を図るため、地域に必要な保育体制を確保・維持することを目的として実施</p> <p>人件費：保育士7名</p>		
総事業費	22,307,329 円	交付金充当額	20,000,000 円
		うち文部科学省分	( 0 円 )
		うち経済産業省分	( 20,000,000 円 )
交付金事業の成果及び評価	<p>本年度は、保育士7名分の人件費（給料・期末勤勉手当・管理職手当）を支給。地域に必要な保育体制が確保・維持されたことにより、保育を要する乳児、幼児又はその他の児童の福祉増進を図ることができた。</p> <p>平成27年度入所者数：88名（幌延町認定こども園80名・間寒別へき地保育所8名）</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
人件費	雇用	—	22,307,329 円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
幌延町において本事業は、保育体制の確保・維持、保育を必要とする乳児、幼児又はその他の児童の福祉増進を図るために必要であることから、平成28年度以降も引き続き本交付金により事業を実施する。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	実施予定なし		

- (備考)
- (1) 事業ごとに別様で作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
  - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
  - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
  - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。